

## 一般演題（口頭発表）

第1日（6月4日） 学校臨床

< 中会議室A >

座長： 村上 雅彦（広島ファミリールーム）

〔9:30 ～ 10:00〕

### A-01 Multisystemic therapy を用いたリスク家庭への介入事例

発表者： 王 劍亭（中央大学大学院, 国立精神・神経センター司法精神医学研究部）  
大宮 宗一郎（国立精神・神経センター司法精神医学研究部, 千葉大学大学院医学薬学府）  
富田 拓郎（関西大学社会学部）  
吉川 和男（国立精神・神経センター司法精神医学研究部）

〔10:05 ～ 10:35〕

### A-09 学校臨床におけるオートポイエーシスを通じたシステムズ・コンサルテーションの試み

発表者： 田中 究（関内カウンセリングオフィス）

〔10:40 ～ 11:10〕

### A-17 IP・家族の対立したニーズを意識して面接をした事例について

発表者： 大倉 智徳（東京都スクールカウンセラー）  
高橋 規子（心理技術研究所）

第1日（6月4日） 技法1

< 中会議室B >

座長： 榎林 理一郎（湖南クリニック）

〔9:30 ～ 10:00〕

### A-02 リフレクティング・プロセスのアイデア着想に関する研究—リフレクティング・プロセス形式のケース検討におけるケース発表者を中心に—

発表者： 三澤 文紀（茨城キリスト教大学）

〔10:05 ～ 10:35〕

### A-10 訪問型家族支援に関する研究 —ACT-Jの事例を通して—

発表者： 英 一也（国立精神・神経センター精神保健研究所）  
久永 文恵（特定非営利活動法人地域精神保健福祉機構）  
伊藤 順一郎（国立精神・神経センター精神保健研究所）

〔10:40 ～ 11:10〕

### A-18 治療者の「仮説設定」と「意図」再考—ある面接場面における治療者の意識の分析を通じて—

発表者： 安江 高子（関内カウンセリングオフィス）

## 一般演題（口頭発表）

第1日（6月4日） 調査研究

<小会議室1>

座長： 平岡 篤武（静岡県立吉原林間学園）

[9:30 ~ 10:00]

A-03 自己分化尺度(DSI-R)の因子分析と分離－個別化尺度、アタッチメント尺度との関連に関する研究

発表者： 小野寺 哲夫（財団法人ふくしま自治研修センター）

[10:05 ~ 10:35]

A-11 発達障害児の親のストレス

発表者： 佐藤 茂男（福島学院大学大学院臨床心理学研究科）

[10:40 ~ 11:10]

A-19 親子(垂直)システムにおける不公平感(unfairness)のストレス反応に及ぼす影響

発表者： 山崎 直（THC 研究所）  
小野寺 哲夫（THC 研究所）  
小濱 元信（THC 研究所）

第1日（6月4日） 教育臨床

<小会議室2>

座長： 田村 毅（東京学芸大学）

[9:30 ~ 10:00]

A-04 コミュニケーション能力に問題を持つ子どもの不適応行動予防プログラムの試み  
－本人と保護者・教員への介入－

発表者： 小西 瑞穂（東海学院大学人間関係学部）

[10:05 ~ 10:35]

A-12 保育領域における家族支援の在り方

発表者： 千葉 千恵美（高崎健康福祉大学）

[10:40 ~ 11:10]

A-20 利用者の選択をサポートするために

－転学相談において担当者が考慮すべきことについて－

発表者： 川越 友美子（東京都教育相談センター）  
高橋 規子（心理技術研究所）

## 一般演題（口頭発表）

第1日（6月4日） うつ

<小会議室3>

座長： 本田 徹（ほんだクリニック）

〔9:30～10:00〕

### A-05 新たな視点を導き出す工夫 ―亡き母に対する葛藤が解消された事例―

発表者： 中野 真也（こころのクリニック）  
高橋 規子（心理技術研究所）

〔10:05～10:35〕

### A-13 あえて積極的に職場復帰に取り組むことを支援した事例

発表者： 米田 一実（龍谷大学大学院文学研究科）  
吉川 悟（龍谷大学文学部）

第1日（6月4日） カップル

<マルチパーパスルーム1>

座長： 中村 伸一（中村心理療法研究室）

〔9:30～10:00〕

### A-06 既婚同性愛者とその配偶者・家族の支援

発表者： 鍛冶 良実（AGP(同性愛者医療・福祉・教育・カウンセリング, 専門家会議)）

〔10:05～10:35〕

### A-14 「そこはプライベートですから」という来談者との面接過程

発表者： 尾形 広行（獨協医科大学越谷病院）  
高橋 規子（心理技術研究所）

〔10:40～11:10〕

### A-21 精神分析的カップルセラピーの一例

発表者： 渡辺 俊之（高崎健康福祉大学）

## 一般演題（口頭発表）

第1日（6月4日） 介護・看護

<マルチパーパスルーム2>

座長： 福山和女（ルーテル学院大学）

〔9:30～10:00〕

### A-07 寝たきり高齢者を在宅で介護する家族に関する研究

－在宅介護と訪問診療への参与観察の試み－

発表者： 平泉 拓（東北大学大学院）

〔10:05～10:35〕

### A-15 わが国のソーシャルワーク実践におけるナラティブ・アプローチの可能性

－認知症介護家族への支援を中心に－

発表者： 荒井浩道（駒澤大学）

〔10:40～11:10〕

### A-22 家族と看護師の関係パターンの分析－臨床での「コンフリクト(もめ事)」に焦点をあてて－

発表者： 柳原清子（東海大学看護学科）

渡辺裕子（家族ケア研究所）

第1日（6月4日） 技法2

<プレゼンテーションルーム>

座長： 小森康永（愛知県がんセンター）

〔9:30～10:00〕

### A-08 クライアントの話を語用論的に解釈するための指標についての一考察－ある面接場面における

発話意図の解釈を通して

発表者： 赤津玲子（龍谷大学大学院文学研究科）

吉川 悟（龍谷大学文学部）

〔10:05～10:35〕

### A-16 家族面接に参加できるようになるためのTF T(思考場療法)

～一家全員が何らかの障害を抱えていた家族の事例を通して(その1)～

発表者： 五十嵐郁代（ヒッポメンタルクリニック）

五十嵐善雄（ ” ” ）

〔10:40～11:10〕

### A-23 ナラティブ・セラピーによる女子中学生のアイデンティティ書きかえ過程の事例研究

Case study of redefining middle school girl student's identity with narrative therapy

発表者： チェ・ジオン（ハウスカウンセリングセンター）

## 一般演題（ポスター発表）

第1日（6月4日） [9:30 ～ 11:30, 在席責任 9:30 ～ 10:30]

<研修室>

### P-01 患者への日常生活ケアを通して家族に関わった事例

～意識清明で気管カニューレ挿入中の脳血管障害患者の家族～

発表者： 佐藤 晴香（福島県立医科大学看護学部）  
          児玉 久仁子（東海大学健康科学研究科）  
          畠山 とも子（福島県立医科大学看護学部）

### P-02 父 - 母 - 子どもの3者関係と子どもの過剰適応との関連性についての研究

発表者： 浅井 継悟（東北大学大学院）

### P-03 遷延性意識障害を持った患者の家族(妻)へのケア

発表者： 齋藤 もも子（福島県立医科大学附属病院）

### P-04 親子間における直接的コミュニケーションと間接的コミュニケーションの関連性

発表者： 板倉 憲政（東北大学大学院教育学研究科）

### P-05 アダルトチルドレンの家族関係 - 構造派家族療法の観点を中心に -

発表者： 中島 隆太郎（東北大学大学院教育学研究科）

### P-06 青年の自他肯定性とFASTに見る親子関係について

発表者： 馬場 久美子（常磐大学人間科学部）

### P-07 慢性痛で日常生活が困難なケース - 痛みの外在化に焦点を当てて -

発表者： 永山 由佳（福島県立医科大学看護学部）  
          畠山 とも子（福島県立医科大学看護学部）

### P-08 「父 - 母 - 子」の三者関係と青年の親に対する葛藤解決スタイルの関連についての研究

発表者： 宇佐美 貴章（東北大学大学院教育学研究科）

## 臨床報告

第2日（6月5日） [13:15 ~ 14:45]

### <小会議室1>

#### B-01 求め合う High EE の母娘への援助

発表者： 飯 島 晶 子 （日本家族カウンセリング協会ファミリーサポート・ルーム）  
SV： 伊 藤 順一郎 （国立精神・神経センター精神保健研究所）  
司会： 中 野 英 子 （札幌学院大学）

### <小会議室3>

#### B-02 TFT(思考場療法)の不登校への応用

発表者： 森 川 綾 女 （アイ心理研究所）  
SV： 遊 佐 安一郎 （長谷川メンタルヘルス研究所／心理技術研究所）  
司会： 千 葉 千恵美 （高崎健康福祉大学）

### <研修室>

#### B-03 自滅からの脱却研究－個人面接においておこなった当事者研究

発表者： 高 橋 規 子 （心理技術研究所）  
SV： 後 藤 雅 博 （新潟大学）  
司会： 渡 部 純 夫 （東北福祉大学）

### <マルチパーパスルーム1>

#### B-04 経済的に自立する妻に対する夫の決断－女の自立、男の面子？

発表者： 小 松 典 子 （LLP ファミリーサポート桜）  
清水 秀 美 （LLP ファミリーサポート桜）  
渡 辺 俊 之 （高崎健康福祉大学）  
SV： 中 釜 洋 子 （東京大学）  
司会： 渡 辺 隆 （福島大学）

### <マルチパーパスルーム2>

#### B-05 IP 不在での家族療法－両親の納得感を手がかりとしながら進めた事例

発表者： 辻 本 聡 （メンタルクリニックラルス）  
高 橋 規 子 （心理技術研究所）  
SV： 児 島 達 美 （長崎純心大学）  
司会： 植 村 太 郎 （神戸労災病院）

### <プレゼンテーションルーム>

#### B-06 クライアントが語る“内容”にとらわれすぎることが面接場面に与える影響についての一考察－“適応障害”の娘と“うつ病”の母親の事例から

発表者： 高 井 恵 （恵生会南浜病院）  
川 嶋 義 章 （恵生会南浜病院）  
後 藤 雅 博 （新潟大学医学部保健学科）  
SV： 吉 川 悟 （龍谷大学）  
司会： 式 守 晴 子 （静岡県立大学）

## 自主シンポジウム

第2日（6月5日）〔13:15～14:45〕

### <中会議室B>

#### C-01 具体的な事例に戻れ！（Zurück zu konkreten Beispielen!） 一下坂幸三をめぐるレッスン

企画者・シンポジスト： 黒田章史（黒田クリニック）  
シンポジスト： 中村伸一（中村心理療法研究室）  
シンポジスト： 森山敏文（広尾心理臨床相談室）  
シンポジスト： 本橋弘子（CLA 湯島心理臨床研究所）

第2日（6月5日）〔16:30～18:30〕

### <中会議室A>

#### C-02 「家族療法学会を斬る！」

座長： 榎林理一郎（湖南クリニック）  
福山和女（ルーテル学院大学）  
「斬り方」： 牧原浩（小郡まきはら病院）  
渋沢田鶴子（ニューヨーク大学）  
市川光洋（お茶の水医院）  
「斬られ方」： 中村伸一（中村心理療法研究室）  
生島浩（福島大学）  
「栈敷席」： 田村毅（東京学芸大学）  
高橋規子（心理技術研究所）  
渡辺俊之（高崎健康福祉大学）  
村上雅彦（広島ファミリールーム）

## 自主シンポジウム

第2日（6月5日）〔15:00～17:00〕

### <中会議室B>

C-03 家族による、家族自身のリカバリー・トーク：私たちは何を体験したか？心理教育、セルフヘルプを家族(当事者)の側から語る(その3)

企画・司会：伊藤 順一郎（国立精神・神経センター精神保健研究所）  
福井 里江（東京学芸大学）  
企画・指定討論者：遊佐 安一郎（長谷川メンタルヘルス研究所／心理技術研究所）  
シンポジスト：ご家族の方4名（4つの家族会〔統合失調症、摂食障害、ひきこもり、  
ボーダーラインパーソナリティ障害の家族会〕のメンバーの方）

### <小会議室1>

C-04 家族面接におけるTFT(思考場療法)

企画・シンポジスト：森川 綾女（アイ心理研究所）  
五十嵐 郁代（ヒッポメンタルクリニック）  
司会：五十嵐 善雄（ヒッポメンタルクリニック）

### <小会議室2>

C-05 離婚と子ども ―長らく「無いこと」とされてきた、親子の引き離し問題について考える―

企画者・話題提供者：須田 桂吾（児童養護施設ゆりかご園）  
企画者・話題提供者：青木 聡（大正大学）  
話題提供者：当事者（自助グループメンバー）

### <小会議室3>

C-06 家族研究を現場に還元するには?! ―一般的な知見と特殊な知見の融合について考える―

企画・司会：若島 孔文（東北大学大学院）  
話題提供者：野口 修司（東北大学大学院教育学研究科）  
狐塚 貴博（東北大学大学院教育学研究科）  
板倉 憲政（東北大学大学院教育学研究科）  
指定討論者：花田 里欧子（京都教育大学）  
生田 倫子（慶応義塾大学先導研究センター）

## 自主シンポジウム

第2日（6月5日） [15:00 ~ 17:00]

### <研修室>

#### C-07 海外から見た日本の家族

企画・司会： 田村 毅（東京学芸大学）  
シンポジスト： 渋谷 鶴子（ニューヨーク大学）  
小笠原 知子（ミネソタ州立大学）

### <マルチパーパスルーム1>

#### C-08 Not-knowing を問いなおす～ゲーリシャンとアンダーソンの臨床観再考

企画・司会者： 高橋 規子（心理技術研究所）  
八巻 秀（駒澤大学・やまき心理臨床オフィス）  
話題提供者： 野村 直樹（名古屋市立大学）  
市橋 香代（総合心療センターひなが）  
高橋 規子（心理技術研究所）  
八巻 秀（駒澤大学・やまき心理臨床オフィス）

### <マルチパーパスルーム2>

#### C-09 自死・自殺のあと遺された家族のたどるグリーフ・プロセスを理解するために

企画： 吉野 淳一（札幌医科大学保健医療学部）  
石井 千賀子（ルーテル学院大学）  
久保 恭子（埼玉医科大学）  
岩本 喜久子（札幌医科大学保健医療学部）  
小高 真美（国立精神・神経医療研究センター）  
辻井 弘美（国立精神・神経センター精神保健研究所）  
木村 睦（北海道立子ども総合医療・療育センター）  
指定討論者： 遠藤 勇司（日本キリスト教団高の原教会）

### <プレゼンテーションルーム>

#### C-10 子どもの育ちを支える地域ネットワーク構築—多職種間協働の視点—

企画・司会： 櫻田 淳（埼玉県立大学保健医療福祉学部）  
シンポジスト： 澤登 智子（埼玉県入間東福祉保健総合センター）  
斉藤 富美代（埼玉県立大学保健医療福祉学部）  
指定討論者： 市村 彰英（埼玉県立大学保健医療福祉学部）